x 教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
数学	数学 I	2	2	C. D	必修	高校数学 I (実教出版)

1. 学習の到達目標

数学 I は数と式、方程式と不等式、二次関数及び三角比と図形によって構成されています。この各分野を学習することで、数学の基礎的な知識を身につけ、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにすることが目標です。

2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	見方・考え方	表現・処理	知識・理解
評価の規準	学習内容における数学的な考え方に関心を持ち、知識の習得に意欲的に取り組むとともに実際に活用する態度を身につけている。	身近な事象を数学の問題としてとらえ、的確に表現することができる。	文字の置き換えや式の変形など事象を適切に考察し、公式などを利用して問題を的確に処理することができる。	各分野における基本的な用語・法則などを理解し、基礎的な知識を身につけている。
評価の方法	授業態度、学習の取り組み状況、計算テスト、定期考査などを総合的に判断して評価します。			

3. 教科からのメッセージ

中学校までの内容を学び直しながら、徐々に高校数学の内容を学習します。社会生活を送る上で必要な数学的な考え方、知識をしっかりと身につけ、活用する能力を磨いてください。

4. 年間指導計画

単 元	項 目	学 習 内 容	実施日
第2章 2次関数			
2次関数の値の変化	最大値・最小値	グラフをかき、グラフより最大値・最小値を求める。	4月
	2次方程式・2次不等式	2次方程式を解く。 2次方程式・2次不等式とグラフとの関係を理解する。 グラフより、2次不等式を解く	

第3章 三角比			
三角比	三角形 三角比	三平方の定理により、直角三角形の辺の長さの関係を知る。 三角比の定義を理解し、比の値を求める。 三角比を用いて、直角三角形の辺の長さ・角の大きさを求める。	7月
三角比の応用	三角形の面積 正弦定理・余弦定理 三角比の拡張	定理や公式を使って、三角形の辺の長さ・角の大きさ・面積を求める。 鈍角の三角比を理解する。	9月

第4章 集合と論証			
集合と要素	ベン図 共通部分・和集合	集合や要素の意味を理解する。 共通部分と和集合の意味を理解し、活用する。	11月
命題	命題の真偽 逆 必要条件・十分条件	命題の意味が分かり、真であるかどうかの判断ができるようになる。 必要条件や十分条件の意味が分かり、適切に使うことができる。	12月
証明法	対偶による証明 背理法による証明	対偶や背理法の意味が理解できる。	1月
第5章 データの分析			
データの整理	統計とグラフ データの整理	いろいろなグラフの特徴を知る。 度数分布表、相対度数について知る。	2月
データの分析	代表値 データのちらばり	平均値、中央値、最頻値について知る。 四分位範囲、四分位偏差、分散、標準偏差について知る。	